

西海研究室 30 周年記念に寄せて

2008 年 11 月 22 日

1996 年度卒 増川 深理

西海研究室 30 周年、本当におめでとうございます。30 年というと私が 4 歳ぐらいの時には研究室が始まっていたということになるので、改めてその長さに驚かされます。この 30 周年の記念に文集を発行されるとのことで執筆をお受けしたのですが、何を書いたらいいのか非常に悩んでしまったので、とりあえず当時の学生生活を振り返ってみようと思います。

私が法政大学に入学したのが 1993 年です。そして特筆すべきことに(?)我々が工学部物質化学科の第一期生になります。工学部というどうしても女子が少なく、男くさい環境をイメージしてしまいます。しかしその中でも化学系(と建築系)は比較的女子が多い、ましてや記念すべき第一期生となれば女子も多いのでは、とすごく期待して入学式に臨んだのですが、結果は 76 名中女子 5 名という超少数精鋭で仲良くなったばかりの友人と非常にかっかりした記憶があります。さらに、最初の名簿は氏名がカタカナ書きで配られたのですが、名前が「シンリ」という中性的な名前ということで多くの人が私を女子だと期待していたらしく、自己紹介すると「なんだ、男かよ」というような理不尽な言葉を浴びせられたことを覚えています。

1 年生時は八王子校舎通いでとにかく遠かった!! 実家のあった千葉の松戸というところから片道 2 時間半弱、ウォークマンの 60 分テープ(我々以上の年代の方は懐かしい響きでしょ!!)が 2 周しても着かないという、毎日が「旅行」でした。2 年生からは小金井校舎に 5 年通いました。時々送られてくる会報等で見ると、当時とだいぶ変わってしまったようですね。たしか我々が 4 年生のころに、正門に入ってすぐ右側の(当時の)新校舎ができたと思います。これを書いている現時点では、小金井校舎には卒業してから行ってないので、校舎がどのように変わったのか、式典のときに実際に見られるのを非常に楽しみにしています。

1996 年に西海研究室に入りました。とにかくイベントの多い研究室でした。花見に始まり、2 度のボーリング大会、夏合宿、芋煮会、忘年会と常にイベントの話で盛り上がっていた気がします。私が印象に残っているのは富士登山です。西海研究室に入ると「毎年夏には富士山に登らなければならない」と聞いていて、実際に登る前は期待半分・不安半分でしたが、非常に楽しかったです。登っているときはキツイですが、登りきった時の達成感、爽快感は何にも代えがたかったです。卒業後も数年間ですが友人と毎年挑戦し続け、結局 5 回ほど登頂に成功しました。現ゼミ生でまだ登ったことがない方は一度挑戦してみてください。とくに専門的な知識や道具もいらないので、根性さえあれば簡単に登れます。さすがに今「登ろう」と言われたら命が惜しいので丁寧に断りますが、そう考えると富士登山を毎夏何十年(?)も続けてこられた西海先生の体力・パワーはすごいな、と今更ながら感心してしまいます。

もうひとつ研究室時代の思い出といえば、カナダ合宿があります。われわれが修士 1 年生のこ

ろ西海先生がカナダのエドモントンに半年ほど留学(?)されたことがあり、当時のゼミ生みんなで夏休みにカナダに押し掛けたことがありました。シアトル経由でエドモントンに行き、そのままニューヨークとフロリダに寄って観光して帰りました。エドモントンには当時(今も?)世界最大といわれたショッピングモールがあり、室内に小さな遊園地まであったのには驚きました。ニューヨークは人が多く、何か買わずにはいられないというほどの店の数で、みんな毎日のようにショッピングに出かけていました(そういえば私が、柄にもなく初めてティファニーで買い物をしたのもこのときでした)。あの時地上から見上げた貿易センタービルが、2001年に崩れ落ちるのをTVで見た時はものすごい衝撃を受けました。フロリダは日程の都合上ディズニーワールドにしか行けませんでした。とにかくこの旅行でカナダ・アメリカのスケールの大きさには圧倒されました。ちなみにこの数年後私はプライベートでグランドキャニオンに行きましたが、こちらのもものすごいスケールで感動しました。もうひとつ海外ネタでいうと、修士2年生の12月に同級だった佐藤研究室の内山君に誘われてフィンランドにオーロラを見に行ったことがありました。フィンランドの地方空港を降りるとそこは-20℃!!そのまま凍死するかと思いましたが、景色は綺麗だし、なにせサンタクロースの国ですから町中クリスマス一色でとても印象的でした。ただ、天候が悪く肝心のオーロラが見られなかったことが悔やまれます。死ぬまでにもう一度挑戦したいと思っています。この旅行の参加者はオーロラを見に行くという内容的にも、クリスマス直前という時期的にもカップルや新婚さんがほとんどだったのですが、その中に男二人で乗り込んでいった我々はおそらく「そういう趣味の二人」と認識されていたことでしょう…。実際に一緒に行った女性には(その人は女性3人で来てましたが)、「男同士で来るなんて」ととても珍しがられました。

いろいろと大学・研究室時代の思い出ををダラダラと書いてしまいましたが、3年間の研究について。正直言ってどんな研究をしたかよく覚えていません(笑)。ただ一つだけとても悔いが残っているのは、結局3年間西海先生に与えられたテーマ内でしか研究できなかったことです。3年間それなりに毎日研究室に行って、一生懸命研究していましたがそれは西海先生から言われたことの範囲でしかありませんでした。先生に言われたことを元に、自分なりに考えてもっと範囲を広げて研究すればよかったと、社会人になってからよく考えます。自分で考えて、目的をもって行動することが社会に出るととても大事だとわかりました。現役のゼミ生の皆さんにはぜひとも、今やっている研究を「やらされている」のではなく「自分で考えてやる」ようになってほしいと思います。生意気言ってしまいましたが、社会人の少し先輩からのアドバイスです。

最後に西海先生へ。30年間本当にお疲れ様です。社会に出て約9年半で3度も会社が変わった私からすると、1つの場所で30年も続けるエネルギーを持ち続ける先生には、ただ「凄い」の一言です。そして今、やっていることを基に常にいろいろな新しいことを考え出してきたからこそ、今日まで30年間続けてこられたのだらうと思います。あと何年か続けていかれるとのことですが、くれぐれも健康には気をつけて、数年といわずあと十年はがんばって教え子たちを増やしていただきたいと思います。